

むむむ。
しぜんいく

五感で感じ
一生懸命遊ぼう

● むむむ。しぜんいく方針

むむむ。では、より多くの人に尾鷲の自然の中で生き抜く力を学んでいただきたい
むむむが起点・終点となって、学びを継いでいく仕組みを作る

① 普段参加できない大人＋子どもへの機会提供

日本財団の運営費で安価に参加いただくことで、親の経験値を増やす

② 若手の育成

学び方、伝え方を森田さんから学ぶ場とする

日々の活動や、次回のおわせいくのイベントでライトにトライしてみる

教える人も主役となって参加できる場としていく

市内の先生にも参加いただく回を設定したい

効果を最大限生かせるよう、PDCAを繰り返す

● むむむ。× しぜんいく 目指すゴールとステップ

むむむ。では、より多くの人に関わってもらおう機会提供の場とする

||参加者||

- ・むむむ。いくに参加することがきっかけになって、自分で自然の中に入れる最低限の知識を学ぶことをゴールと設定
対象は、尾鷲市内の親子、子、尾鷲市外在住の親子
特に、おわせいくを体験したことない親世代をコアターゲットにし、自然からの学びとは？を考える機会を創生

||担い手育成||

- ・継続的にむむむ。いくに関わる中で、自らも伝える立場になり、経験値を積み、一人立ちできる(むむむ。でプログラムを企画～運営)ことをゴールと設定

2023

プログラムのトライ&エラー

- ・親⇄子でも学び合う
おわせいくプログラムを作る
1回当たりの濃度、1人/親子で
- ・担い手育成のために必要な
期間などの見極め
- ・海、川、山
まんべんなく

2024

プログラム成熟期間

- ・2023の振り返り折込み
- ・1回のプログラムの吸収量を
上げるための工夫の折り込み
ペアの組み方(子ども同士)、時間配分、
領域拡大
- ・可能な範囲の効率化
日常のむむむ。と連動
- ・森田さんは、見守る側

2025

プログラム外販

- ・ここで育った担い手が
市外の担い手希望者と共に
プログラムを更に昇華
- ・小山ハウスの出先機関に

7月 デンガラの滝



むむむ。とおわせいく

2023. 7. 8 (土) 9:30-13:00



at デンガラの滝

対象 お子様(小学生以上) と保護者

参加費 無料

申し込み 申し込み LINEお友達登録後、申込Formが送付されます
問い合わせ 宮崎 090-1372-2105

主催 (一社)つちからみのれ 後援 尾鷲市 協力 (有)ドーモ



←募集用ビラ



振り返り①

- ・目的: ・尾鷲が育んできた豊かな自然に親子で触れ合う機会を創出し、自然を五感で感じ、リラックスするなど良さを知る
>水中の動植物の観察をしてみよう、ライフジャケットをつけて水の中に入ったり、できる子は飛び込んでみたり、水を全身で感じよう
>川の水でむむむ。のある向井のやさいをひやして食べてみよう
- ・危険予知について初歩的な知識を体得し、今後も自然に触れ合う機会を自ら作りながら、どんな環境でも生き抜く力を身につける第一歩とする
- ・《むむむ。ポイント》ゴープロを取り付けて水の中の様子を記録に残そう、レポーターになってみよう→別途動画にして展開予定

- ・実績: 9:45 むむむ。出発→14:00むむむ。到着
デンガラ滝の滝到着後、ライフジャケット、ヘルメットを着用し、散策スタート。窪みの部分で岩から飛び込んだり、道中の動植物を観察しながら滝壺へ。到着後は水鉄砲で遊んだり、滝にうたれたり、それぞれで思い思いに過ごす。軽食として、冷やした向井の野菜を入れたホットサンドを自分で作って食べた後、荷物を撤収しながら元の道に戻る。

参加者:15名(子ども8、保護者7)

同行スタッフ:(有)ドーモ 森田さん、

濱野さん

(一社)つちからみのれ 日向、宮崎

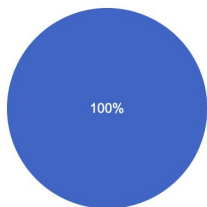
・プレス: 中日新聞、ZTV

・天候: 曇り

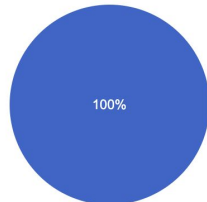


振り返り② 参加者アンケート (回答率70%)

Q1.保護者の満足度

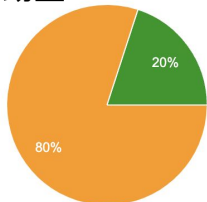


Q4.子どもの満足度



全員が非常に満足と回答

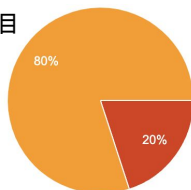
Q2.保護者の活動量



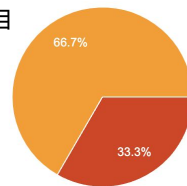
● きつくて、このくらい活動するのは無理
● ややきつい
● 程よい疲労感で、ちょうど良い
● 楽で物足りなかった

Q5.子どもの活動量

一人目



二人目



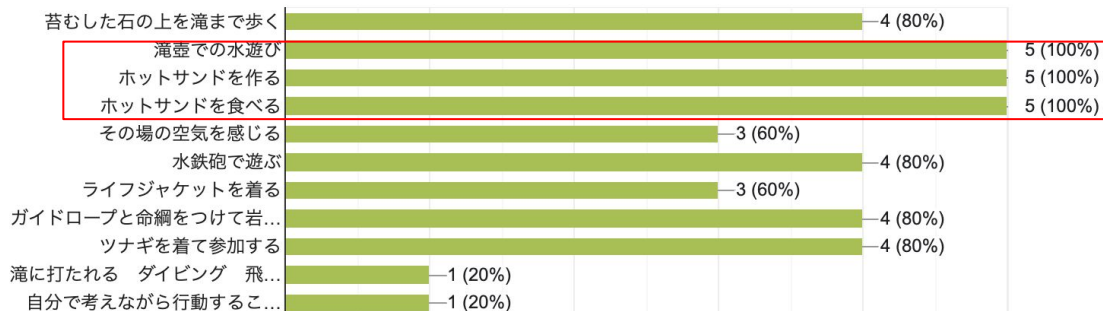
子どもがややきつい状況でも
保護者がカバーし切れる
活動量だった

Q3.保護者の体験値でよかったこと



ライフジャケットを着るのは、
よい経験になったと回答(後述)

Q6.子どもの体験値でよかったこと



振り返り③ 参加者アンケート記述結果

保護者の学び、よかった点

参加させていただいた親自身がとても楽しく過ごさせていただきました。子どもたちもそれぞれの興味のおもむくままに楽しんでいる様子でよかったです。カエルに夢中になったり、飛び込みに挑戦したり、ホットサンドの中身をアンパンマンにしてみたり、。いろんな要素を取り入れていただき、二人とも楽しんでいました。ありがとうございました！

最初の涙がなんだったのかと思うくらい笑顔がでた次女。やりたい気持ちより不安が大きかったのかな？と思いました。乗り越えるまで寄り添っていただき、ありがとうございました。ついつい大人の都合ばかりを優先して行動している

子供が普段より人見知りなとこに気づきました。沢登りは普段ではなかなか体験させれないので、学びになりました。

苔や滑りやすい石の上を歩くことはあまりなく、足の力の入れ方など自然に身につけるのが良かった

なかなか親だけでは連れていくのは勇気があることだったので、たくさんの大人の目がある中で自然体験ができたことで安心感がありました。また、スタッフの皆様や保護者の方の子どもとの関わり方などを見せて頂き、学ぶことが多かったです。そしてなにより、果敢にチャレンジしていく子どもが見られ、1日ですごく成長したことがとても嬉しかったです。

子どもの生声

カエルと遊べて楽しかった。川へ飛び込むのが楽しかった。ホットサンド作りも楽しかったし美味しかった！

滝遊びの飛び込みや屋外での調理が楽しかった 長女 飛び込みできてよかった 次女

とても楽しかったです。またあったら参加したいです。滝に打たれるのは痛かったけど、面白かったです。

滝壺の下に入れることは身近でなかったので、水の勢いも感じられてメチャクチャ楽しかったそうです。

ドキドキしたけど、楽しかった。水鉄砲が面白かった。ご飯が美味しかった。また行きたい。

普段の生活では体験できない
自然の中だからこそ、得られたことがあった。

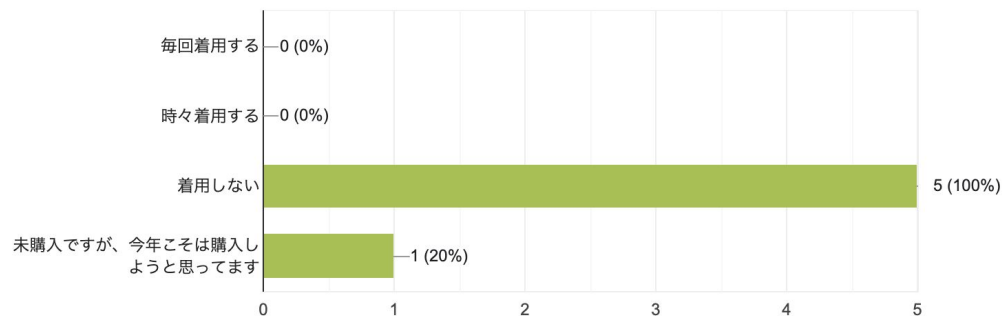
恐怖を乗り越える、体の使い方など

また、その際にこの規模感だからできる
寄り添いのできたこともよかった。

楽しい思い出ができたという感想だが
そこから、水(滝)がどういうものかを
体得できていた。

振り返り④ 参加者アンケート ライフジャケットについて

川や海で遊ぶ時、保護者の方はライフジャケットを着用するか？

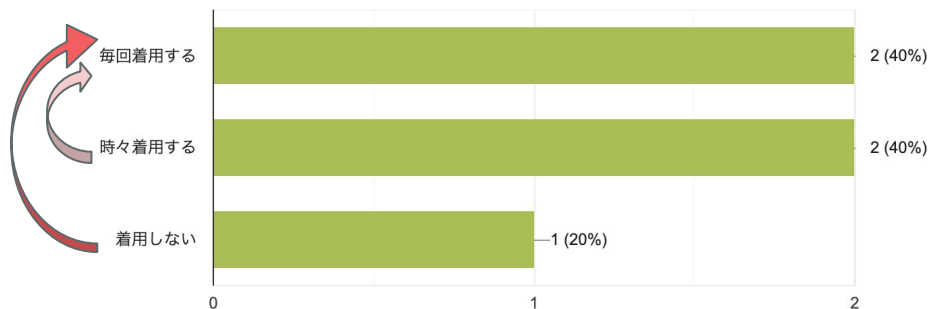


保護者の着用率は0%
(ただし、ライフジャケットの良さは体感できている)

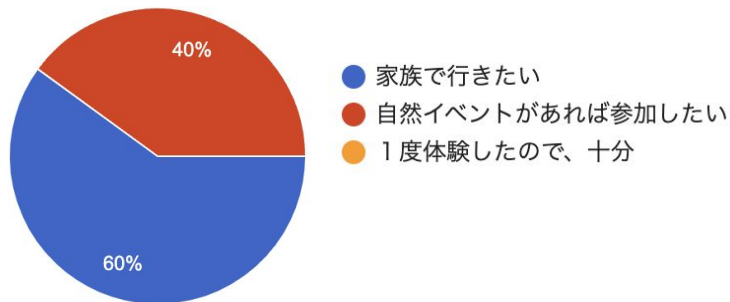
子どもについては、
着用しない
＝持っていないor持っているが着用しない

ライフジャケットの保有有無はわからないが、
今回をきっかけに毎回着用するとなれば幸い
(その点までアンケートで確認できると
よかったです。すみません)

川や海で遊ぶ時、お子様はライフジャケットを着用するか？



今後も自然の中に行く機会をもちたいか



今後家族で自然体験する際に欲しい情報

行程表や、写真

上の質問、イベントも参加したいです。欲しい情報は、今回みたいに自然が近くにあるけど、遊び方や場所を知らないので教えて欲しい。

徒歩での移動距離。服装、履き物など。一つ前の質問一つしか選択できませんでした。

危険な場所や、今回の滝のような地元の人でもあまり知られていない場所、必須の持ち物

遊び方や場所を教えて欲しいという情報に関して

やはり親が知らないので連れていけないというところが見受けられる。

むむむ。からの情報発信方法を検討していく。
むむむ。ならではのコンテンツとしたい。

それ以外でも

どういう形でサポートできると良いのか
次回以降、もう少し突っ込んだ聞き方をしてみたい。

振り返り⑥ 参加者アンケートからの運営振り返り

LINEでの連絡のタイミング、内容について

前回は参加したので大体想像できましたが、初めての場合お昼を挟むので飲食について明記していただければ助かります。

尾鷲にはお店が少ないので、持ち物が早くわかると休みの日に買い揃える余裕が持てるかもしれません。

特にないです。

滝まで持っていく持ち物に迷い、荷物が多くなってしまいました。

早めの発信を心がけます！

運営面での改善点

特にありません

特にないです。

移動距離が少し長かったので帰り車で寝そうになりました。乗り合わせなしで現地解散の方が着替えもなしで帰宅しやすいと思います。

事前に注意すべきことや、持ち物が分かりやすいとより良かったです。（帽子や水泳帽はいらなかったかな？）

むむむ。に戻った後で
むむむ。でしかやれないことをやる
もしくは
参加者の体調を考慮し、現地解散も検討

暑さ忘れて水遊び

尾鷲・テンガラ滝 親子で自然体験



尾鷲市南浦のテンガラ滝。周辺で八日、親子で水遊びを満喫した。地域の自然を満喫するイベントが、参加した親子は、八日保護者は滝に打たれ水辺の川に飛び込んだ。水遊びは、子どもが自然を満喫する機会となる。市内で地域に根ざり取り組む「一般社団法人」も、このイベントが主催。同市米

テラノ滝の滝で水遊びを楽しむ参加者。尾鷲市南浦。町の自然体験会社「ドゥー」が協力し、ライオン・ケツやロープの使い方を指導した。周辺の場所にある、道の幅は約30メートル、水深は約1メートル。水遊びは、子どもが自然を満喫する機会となる。市内で地域に根ざり取り組む「一般社団法人」も、このイベントが主催。同市米

きのうの結果

▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
32-0	0-4
徳島	津
名西	名東
2-1	1-1
津	津
②津市営球場	⑤南山心
6-1	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

きょうの試合

▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
名北	朝
11-3	0-0
津	津
②津市営球場	⑤南山心
4-0	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

あすの試合

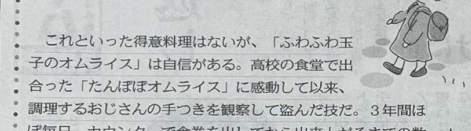
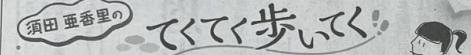
▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
名北	朝
11-3	0-0
津	津
②津市営球場	⑤南山心
4-0	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

てくてく歩いて

これといった得意料理はないが、「ふわふわ玉子のオムライス」は自信がある。高校の食堂で出た調理したおじさんの手つきを観察して盗んだ。3年間ほぼ毎日、カウンターで食券を出してから出来るまでの数分間は、キッチンの奥のおじさんの動きを目に焼き付けた。家で母がオムライスを作ってくれる日は実践のチャンス。ケチャップライスまでは母が作り、私が卵担当。油の引き方やフライパンの老朽化の度合いによっては、卵がフライパンにゴロゴロとくっついて失敗してしまっこともあり、10年以上試行錯誤を繰り返して今に至る。

先日、母と2人で昼ごはんを食べることになり、私が全ての調理を引き受けることにした。見た目はまずまず。母は「おいしい!」と喜んでくれたが、自分で食べるとなんだか物足りない。卵しが練習してこなかったからだろう。シンプルな料理こそ、ちょっとした調味料遊びが大きな差になることを痛感した。次は野菜を炒める際にバターを使ってみようか。



オムライスを極める旅

デンガラ滝で水遊び

地域の大自然と触れ合う

一般社団法人「つちがみ」の企画で、7月13日(土)に、尾鷲市南浦のデンガラ滝で水遊びイベントが行われた。参加者は、滝に打たれ水遊びを楽しんだ。地域の自然を満喫する機会となる。市内で地域に根ざり取り組む「一般社団法人」も、このイベントが主催。同市米



ライフジャケットを着て水遊びを楽しむ子ども

向井地区の新鮮なヤマブドウが、地元産のヤマブドウを使ったお菓子や飲み物に加工されている。地元産のヤマブドウを使ったお菓子や飲み物に加工されている。地元産のヤマブドウを使ったお菓子や飲み物に加工されている。

久々の花火を浴衣で

若い世代は浴衣で花火を楽しむ。浴衣を着て花火を楽しむ。浴衣を着て花火を楽しむ。浴衣を着て花火を楽しむ。

あすの試合

▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
名北	朝
11-3	0-0
津	津
②津市営球場	⑤南山心
4-0	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

「なでしこ」の必勝祈願

日本サッカー協会 熊野三山を参拝



なでしこ日本代表の必勝祈願を祈る関係者ら

なでしこ日本代表の必勝祈願を祈る関係者ら。なでしこ日本代表の必勝祈願を祈る関係者ら。なでしこ日本代表の必勝祈願を祈る関係者ら。

あすの試合

▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
名北	朝
11-3	0-0
津	津
②津市営球場	⑤南山心
4-0	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

あすの試合

▽1回戦

①四日市市営露ヶ浦球場	④津田学園
名北	朝
11-3	0-0
津	津
②津市営球場	⑤南山心
4-0	0-0
飯野	青
14-0	0-0
四日市南	55-0
0-0	0-0
③ドリームオーシャンスタジアム	⑥田張
7-1	0-0
高	高
8-0	0-0
阪	阪
7-1	0-0
尾鷲	四
④タイムスタジアム伊勢	⑦石
11-0	0-0
宇治山田	11-0
0-0	0-0
皇	皇
7-1	0-0
相	相

9月 ゆらゆらたい



むむむ。とおわせいく

2023. 9.9 (土) 9:00-14:00



知
つ
て
る
？

海と川の境目

そこには何があるのかな？
どんな生物がいるのかな？
行って確かめてみよう！

at 矢ノ川

対象 お子様(年長以上) と保護者

参加費 無料

**申し込み
問い合わせ** LINEお友達登録後、
申込Formが送付されます
宮崎 090-1372-2105



主催 (一社)つちからみのれ 後援 尾鷲市 協力 (有)ドーモ

←募集用ビラ



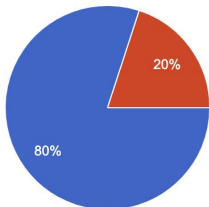
振り返り① 全体概要

- ・目的:①ゆらゆらたいを五感で感じる: 境目をみる、味わう、感じる(冷たさが違う)
②生物調査: 生物を大切に捕獲(シュノーケルフィッシング)、生物についてBiomeなどを用いながら調べてみる(正誤は問わない)
→最後にオリジナル図鑑にできないか?
- ・危険予知について初歩的な知識を体得し、今後も自然に触れ合う機会を自ら作りながら、どんな環境でも生き抜く力を身につける
第一歩とする
- ・実績:9:30 むむむ。集合→9:45 むむむ。出発→14:10むむむ。到着→14:25 解散
むむむ。到着した人から、ウェットスーツ途中までを着用。全員集合後、フリーフィングを行い矢ノ川へ。到着後、ウェットスーツ、ライフジャケットを着用し水の中へ。海に向かって流され、歩きながらゆらゆらたいを体験。その後、スタート地点のベースに戻りホットドックを作って食べた後、生き物の探索&捕獲を行い、最後に同定を行った。
参加者:12名(子ども7、保護者5)
同行スタッフ:(有)ドーモ 森田さん
ボランティア 濱野さん、濱口さん、吉田さん
(一社)つちからみのれ 宮崎
- ・プレス:南海日日
- ・天候:晴れ

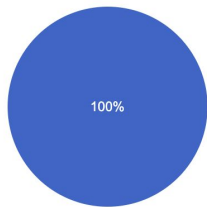


振り返り② 参加者アンケート (回答率 100%)

Q1.保護者の満足度

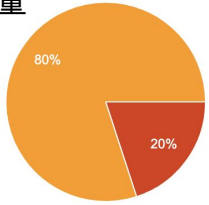


Q4.子どもの満足度



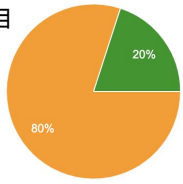
**満足～非常に満足で
100%**

Q2.保護者の活動量

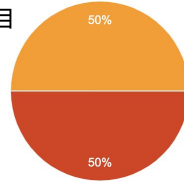


Q5.子どもの活動量

一人目

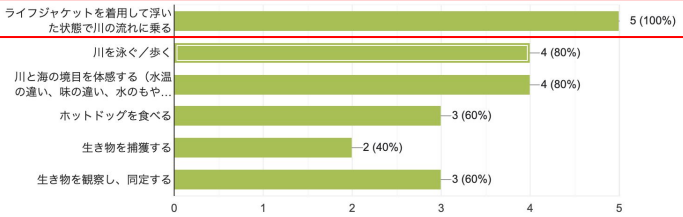


二人目



日頃動いていない大人には無理させたくないが、2割がややきついと言う結果。事前に、運動量をお伝えし、心構え、事前準備をお願いをする。

Q3.保護者の体験値でよかったこと



Q6.子どもの体験値でよかったこと



アトラクションが保護者にも子どもにもヒット!

振り返り③ 参加者アンケート 学び、生声

保護者の学び、よかった点

子どもと一緒に川の流れるに乗ったり川と海の境目の体験 塩水を飲む、温度を感じるなどの体験ができて楽しかったです。ありがとうございました。いつまでも遊んでいる子どもたちの様子を見て、自然の雄大さも感じました

子どもの体力に驚かされ、自分たちだけではなかなか難しいと思うほど、おまかせでしたが、安全面には細心の注意をいただけていると感じたので、私自身もゆったる過ごせました。

水の違いを実体験で感じる事ができたこと。

いつもは仕事や家事で子どもと一緒に遊べる時間がなかなか取れないので、このように一緒に体験して遊べるのは親子関係構築にもとても良いと思った！体験の後も「あの時あーだったね」と会話にも繋がるしとても良かった！

子どもの生声

ゆらゆらたいは、よく見えて海と川の境目がよくわかった。生き物調査は捕まえられたことが嬉しく夢中になりました。

ゆらゆらたいは少し見にくかったようで、私の靴の白い部分で見えて良かったと言っています。イメージがつきにくかったのかと思いました。よくガムシロみたいと聞くので、前もってその状態を見せるか何かできたらよかったかなと反省しました。生き物観察はもっと捕獲の時間が欲しかったらしく、それが物足りないかったとの感想になったようです。観察は非常に興味深かったようです。

水の違いを自分の目で見て、味わうことが出来て良かった。ゆらゆら帯も知らなかったので境目があることにびっくりした。

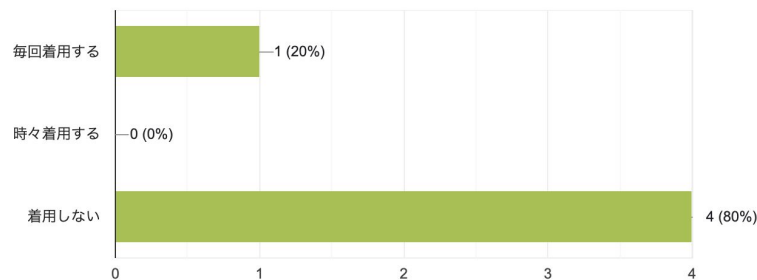
海と川の境目を意識したことがなかったので、勉強になった。川の魚の名前を知れて良かった。

子どもと一緒に安心して
自然を感じられることが
良い体験につながっている。

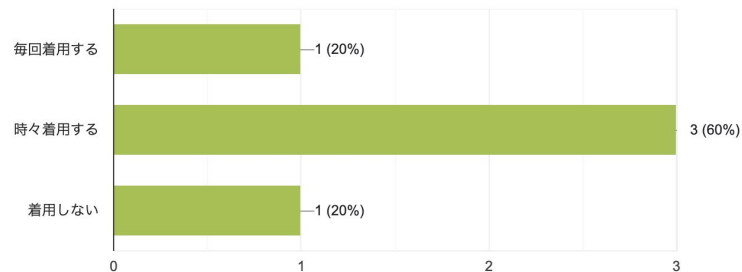
ゆらゆらたいについて感じ学べたこと、
生き物の採取～調査まで一貫でできたこと。
企画意図通りに楽しんでもらえている。

振り返り④ 参加者アンケート ライフジャケットについて

川や海で遊ぶ時、保護者の方はライフジャケットを着用するか？



川や海で遊ぶ時、お子様はライフジャケットを着用するか？



イベントをきっかけに、ライフジャケットを購入しよう、着用しようなど考え方が変わったことがあれば記載ください。

4件の回答

購入しようと思います

着用させたいなと思いました。

慣れているからこそ着用しないと怖いなと感じました。

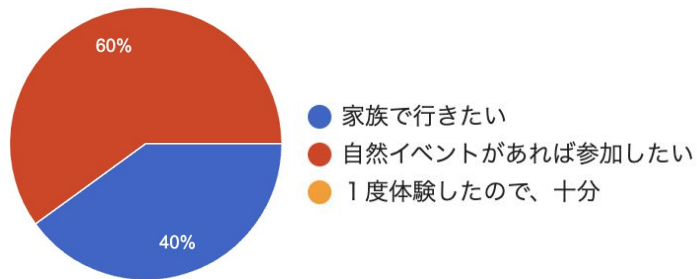
浅い川でも足を取られる事があるので危険だと思った。ライフジャケットは必要だと思った。

保護者の着用率は20% (前は0%だった)
子どもについては、毎回着用が20%

記述回答の通り、ライフジャケット着用への意識は上がっている。

振り返り⑤ 参加者アンケート 今後も継続したいか

今後も自然の中に行く機会をもちたいか



先月は、遊ぶ場所、遊び方を教えて欲しいという記述が数件あった。
引き続き、むむむ。でもむむむ。とおわせいくの発信時に場所などの情報は付与していく。

今後家族で自然体験する際に欲しい情報

難易度

特にありません

紅葉、潮干狩り、雪遊びなど季節のもの

次回森イベントでのリクエスト

みんなでできることが楽しい子なので、何ができるかわかりませんが、登った後の景色など達成感が味わえるものならいいと思います。

木を斧で切ってみたい。木や木の中、仕組みを知りたい。

野外料理

←参考にしつつ
また企画を相談させてください

振り返り⑥ 参加者アンケートからの運営振り返り

LINEでの連絡のタイミング、内容について

大丈夫です

特にありません

お魚料理も参加しなかったけど、むむむのラインからは何も連絡がなかったので参加できなかった

前回の振り返りを生かし、
発信タイミングをはやめた。

←むむむとおわせいの発信と魚料理のイベントの発信は同じメールの中で実施しているので、
見落としかと思われませ...

運営面での改善点

丁寧な準備に感謝です。

保護者についてどこまで水に入るか分かれば助かります。参加者は何をするのか想像つかないので。

親にもスープ飲ませて欲しかったです笑笑

スープの声かけ、もっとすればよかったです (笑)

多様性あるスタッフでの良い点

高校生のユウくん、ケンの事をよく見てとても優しく相手をしてくれてありがとうございました！帰り道、一緒に手をひいて連れて行ってくれたおかげで母親も助かりました！濱野先生初め皆さんの、無理に急かさな
い、待ってくださる姿勢にも助けられました。ありがとうございました。

呼び名が親しみやすく、それが緊張をほぐしてくれ、見守ってくれている感がものすごく感じられました。

いろんな世代の方がいると考え方も異なるので面白いです。一人っ子なので接し方の勉強にもなります。

子どもと遊んでもらえたのが良かったです

あだ名で呼ぶのはみんながリラックスできて良い。
＞次回も継続する！
焦らせない、見守るというスタンスは、今後も崩さずにやっていく。
また、接し方の勉強と言う観点でも非常によかった。
ゆうにいい、ありがとうございました！！

スタッフと参加者の関わりに関して改善やリクエスト

今のままで充分です。

荷物がたくさんあったので、待つのを手伝って欲しかった

荷物は最低限になるようお願いすべきだった。
荷物が多いため手伝うというのは違うのかな？？と
思っています。

日刊

南海日日

発行所
南海日日新聞社
〒519-3617
三重県尾鷲市野町6番5号
TEL 0597-22-4498 95
FAX 0597-22-4491
E-mail: genbu@nankai-nichi.com

9月12日
(火曜日) 山瀬

出て1日がかりでケヤキを撤去した。
東組の中森伸現場監督(56)は「地域の支えて毎日仕事をさせてもらっている。今後もできることは協力した。」

「い」と話し、太田区長は「ここは地域住民の命を守る道。区の予算が厳しい中で早急に撤去してもらい感謝している」と話していた。

の違いを問いつけ、児童たちは「海水は塩水」「海の方が魚が大きい」「水温が違う」「海は波がある」などと返答。森田さんは「川と海には本当にそんな違いがあるのか、今日はみんなで確認しましょう」と呼び掛けた。

ゆらゆら帯観察楽しむ

矢ノ川下流「むむむ」自然体験
て親子12人

尾鷲市向井のおわせむかい農園に整備された多世代の居場所「むむむ」の親子自然体験イベント「海と川の境目の観察」が9日、市内矢ノ川下流であり、親子5組12人が川遊びを楽しみ、淡水と海水が層状に混じり

合う汽水域で見られる「ゆらゆら帯」を観察した。

講師は紀北地区で自然生活体感塾を開く同プログラム世話人の森田さん。森田さんはウエットスーツにライフジャケットを身に著けた児童たちに海と川

この日は小潮で大橋下が汽水域となっており、親子は海水と淡水が混じることで蟹気楼(しんきろう)のように見える「ゆらゆら帯」を観察。川底の海水部分が温かく水面近くが冷たい温度差や味の違いも体感した。



海と川の境目を観察して味の違いを調べる参加親子(9日、尾鷲市矢ノ川河口で)

尾鷲小学校3年の玉置咲智さん(8)は「ゆらゆら帯では水の温度の違いがよく分かり、もやもやしたのもよく見えた。味の違いもはっきり分かった」と笑顔で話していた。

11月 にここに公園



むむむ。とおわせいく

2023.11.11(土) 9:30-14:30



ロープ一本あつたら何ができるかな？
遊びの道具にもなるし、怪我した時にも
役立つよ。みんなで遊びながら、森の中
で学んでみよう

at にこにこ公園

対象 お子様(年長以上)と保護者

参加費 無料

申し込み LINEお友達登録後、
問い合わせ 申込Formが送付されます
宮崎 090-1372-2105



主催 一般社団法人 つちからみのれ 後援 尾鷲市 協力 (有)ドーマ

← 募集用ビラ



振り返り① 全体概要

<目的>

①親子でアウトドアで基礎になるロープワークを遊びながら学ぶ

- >当日の動画を共有し、定着させる、ロープを家に持って帰ってもら(φmm×1.5m)
- >ロープワークのアレンジ案:荷物人を引き上げる(チェストハーネス、シートハーネス)、捻挫の時の対応

②親子で自然の中で生き抜くための知恵に触れる

- >防災の観点(身近にあるもの)
 - 味わう:α米、保温したお湯で飲むスープ容器によって温度がどう変わるか
 - 創る:防災ハンモックスクリーン付)、スラックライン+ブルーシート、ツェルト一組み立てる
 - 触る:蓄電池を触ってみる(ランタン、携帯充電)

時	3	6	9	12	15	18	21	24
天気	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り
雲量	—	—	—	—	—	—	—	—
観測高度	—	—	—	—	—	—	—	—
気温(°C)	朝までの最低気温 13.7°C		夕方までの最高気温 19.5°C					
湿度(%)	96	98	84	54	48	79	85	80
露点温度(°C)	15.1	13.6	12.4	8.8	6.8	9.3	8.4	7.3
現地気圧(hPa)	1012.3	1014.4	1016.4	1016.5	1016.9	1018.9	1019.5	1018.7
(変化量)	(+1.0)	(+2.1)	(+2.0)	(+0.1)	(+0.4)	(+2.0)	(+0.6)	(-0.8)
海面気圧(hPa)	1014.3	1016.5	1018.4	1018.5	1018.9	1021.0	1021.6	1020.8
風向(16方位)	西	南南西	北北西	東	北北東	西	西	西
風速(m/s)	2	2	1	3	3	3	2	1
視程(km)	20	20	20	20	20	20	20	20
不快指数	62	59	61	62	60	56	54	54

<実績工程>9:30むむむ。集合:つなぎ着る、お湯を容器に入れるバーナー/蓄電池&瞬間湯沸かし器→10:00 駐車場へ移動→10:30歩いてにこにこ公園へ
 →11:00 公園着→11:00 スラックライン~ロープワークお湯をセットツェルト一体験→12:30 軽食→13:00 リラックスタイム
 →13:45 片付け開始→14:00 駐車場へ移動→14:30 むむむ。へ戻る→14:40 振り返り、つなぎ脱ぐ→14:50解散

<軽食> * アルファ米 いろんな種類写真参照)+缶パン
 * スープ

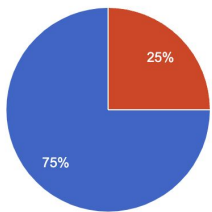
<参加者> :7名(子ども4、保護者3)
 同行スタッフ:(有)ドーマー 森田さん
 ボランティア 濱野さん、吉田さん、岸田さん
 (一社)つちからみのれ 日向、宮崎

・天候:晴れ

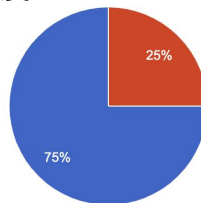


振り返り② 参加者アンケート (回答率 100%)

Q1.保護者の満足度

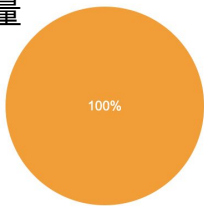


Q4.子どもの満足度



**満足～非常に満足で
100%**

Q2.保護者の活動量

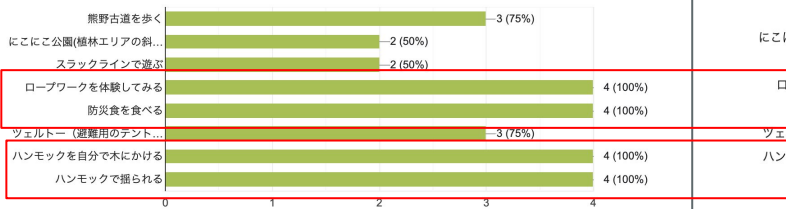


Q5.子どもの活動量

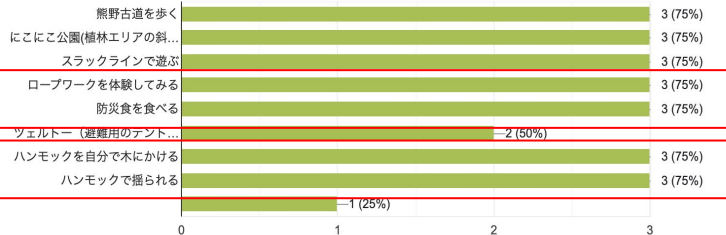


ちょっときついかなと思ったが、大人も子どももちょうど良い活動量だった (最後のハンモックが帳消し?)

Q3.保護者の体験値でよかったこと



Q6.子どもの体験値でよかったこと



親子ともにロープワーク、防災食、ハンモック体験が高評価。
スラックラインは子ども全員がよかったと回答 (さとちゃんもやれなかったけど良い経験になった?!)

振り返り③ 参加者アンケート 学び、生声

保護者の学び、よかった点

大人でも自然で遊べるのが楽しかったし、防災についての意識も改めて考える機会になりました！

ロープワークが勉強になりました。あと防災食を子供が食べたの初めてでしたが美味しいと言っていたので、家での備蓄に役立てたいと思います。

焚き火やテント以上の自然遊びは自分達では教えられないためこういう企画は本当にありがたい

今回初めて尾鷲の山に入りました。木々の元での活動は楽しくもありましたが、熊や落石などやはり自然というのは人間主体では無いという事に改めて気付かされました。また、遊びの中で災害時に使える技術を習得していくというのも、これほど自然災害のおおい時代には必要になるだろうなど。安全面、危険面についての指導があり、緊張感も持ちつつ安心して参加できました。ただ楽しく遊ぶだけではなく学びの面でもご指導くださったのでとても有意義な時間でした。ありがとうございます。

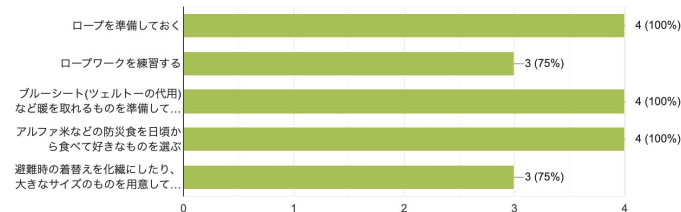
子どもの生声

スラックラインは怖くて出来なかったけど、ハンモックは楽しかった

スラックラインが山の斜面でやるとちょっと怖くてとても楽しかったです

ハンモック、アルファ米、熊野古道を歩くのが特に楽しかったそうです。アルファ米食べたり、ラクと言うところにサバイバルを感じたそうです。

今後も自宅で実践したいもの



まだ、非常持ち出し袋などを作っていないので必要ですね。また家族で災害時の連絡や待ち合わせなどについて話していなかったの、話し合いたいと思いました。

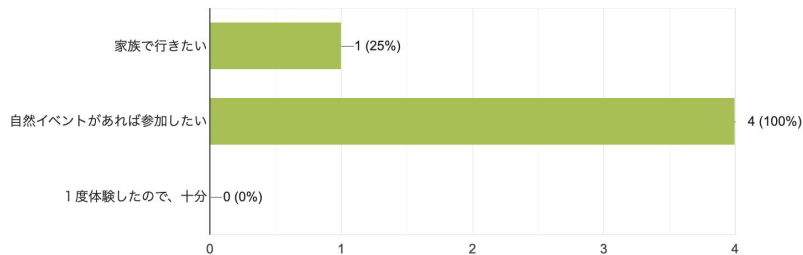


防災についてのきっかけ作りとなった。自然の中で親が子どもに教えられることに限界があり、このような機会は重要だと改めて認識。

一方で、子どもは純粹に山の中での遊びを楽しんでいる。ロープワークも遊びとしてももう少し刻まれていると良かったがそこまで響いていなかった。

振り返り④ 参加者アンケート 継続性

今後も自然の中に行く機会をもちたいか



先のアンケートにもあったように、
親自身も学びながら自然の中に入りたいと考えている

今後家族で自然体験する際に欲しい情報

欲を言えば植物昆虫動物の情報も少しあったらなお楽しい

サバイバル術という言葉で想像していた期待値と いい意味、悪い意味でギャップがあったか？

災害時は大体はサバイバルだと思ったけど便利なものはどんどん使うのはびっくりしました

サバイバルというので過酷な事を想像していたのですが、体力的にもそこまで削られずに親子で楽しみながら参加できました。ただ楽しいだけでなく、すべての体験が災害時の知恵となる事を学べたのはとても良かったです。

サバイバル
→過酷な体験
→便利なものを使うのは悪
というイメージは少なからずあった
と思われる

多様なスタッフでの良い点

いろんな年代の方がいて良かったと思います。

僕が喋ったら皆んな話に乗ってくれて嬉しかったです

高校生の方々が、次男の面倒をよく見てくださりとても助かりました。同年代の親子連ればかりだとこのようにはいかないだろうなと思いました。

やはり高校生と小学生の相性はよい。
記載いただいているように、同年代だけだと
ここまで子どもをフォローできていなかった。

スタッフと参加者の関わりに関して改善やリクエスト

全くありませんとても良かったです